

【編集・発行】藤岡こどもネットワーク広報専門部 TEL62-4321 藤岡公民館内

海老沼会長あいさつ



栃木市青少年育成市民会議、藤岡こどもネットワークの海老沼光雄と申します。

令和2年度はコロナウィルス感染症拡大防止のため、イベント等が中止となりましたが、藤岡こどもネットワークでは心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的に、地域全体で取組を推進しています。

令和3年度は感染防止対策を実施しながら、イベントの企画運営や非行防止活動を行っています。

なお、賛助会員等の勧誘活動もご協力をお願いします。皆様のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

協力20団体（令和2年4月1日現在）

藤岡シティ青少年健全育成推進部会、藤岡地区民生委員・児童委員協議会、藤岡地区スポーツ推進委員協議会、ハードル会、藤岡地区保護司会、藤岡地区更生保護女性会、とちぎ未来アシストネット藤岡地域教育協議会、藤岡地域小中学校長会、藤岡地区社会福祉協議会、藤岡地域自治会連合会、藤岡地区体育協会、藤岡地域少年補導員会、藤岡子ども会育成会連絡協議会、市PTA連合会藤岡ブロック、藤岡地域幼稚園、藤岡地域保育園、どーなつクラブ、ふじおかおはなし会コロポックル、ふじおか民話クラブ、藤岡町文化団体連絡協議会

こどもネットワーク団体紹介



藤岡地区体育協会

スポーツは生涯を通して健康で文化的な人生を送るため、青少年期には心身とも健全育成を図るには必要不可欠なものであります。

藤岡こどもネットワークでは、藤岡地区スポーツ協会の協力のもと、9月19日（土）に渡良瀬遊水地谷中湖において新型コロナウイルス感染防止対策を図りながら健康サイクリング大会を開催しました。当日は小学生を含む保護者など地域の方々総勢27名の参加でしたが、3県境ではボランティアガイドの説明を全国的に平地にあるのは珍しい3県境について真剣に聞き入っていました。途中雨に降られましたが、子供たちは一人も脱落者もなく完走でき、地域の方々とも交流を深めることができました。4月にも健康サイクリング大会を開催する予定です。

また、栃木市内全域に渡良瀬遊水地の良さについてスポーツを通して周知できれば良いと思います。



ふじおか民話クラブ

私達は、言葉で人との交流を図り、地域貢献をとの志向から年間を通して民話語りの活動を行っています。

来場者を募って定期公演を年2回行い、介護施設・小学校・寺院・自治会などから民話語りの要請を受け、毎月あるいは随時に出向きます。定例会を毎月開き、奇数月に道の駅で、語る機会を得ています。民話は語り手が一方的語るのではなく、語り手と聞き手が思いや背景を共有できるように、語り届けるものです。

風土を語りへのせ、貧しく苦しかった祖先の暮らしぶりや曖昧さを含む動物や神の話、嫁姑や子供、和尚と小僧、歴史ものなど盛りたくさんです。

要請先により楽器演奏と歌も共に、和やかな雰囲気笑顔と楽しみとの声も多く、励みになっています。





藤岡小学校 「渡良瀬遊水地環境学習」

本校では、ふるさと学習の一環で、5年生が総合的な学習の時間に「われら渡良瀬探検隊」として、渡良瀬遊水地環境学習を行っています。ふるさとである渡良瀬遊水地の自然に興味・関心をもって調べ、ラムサール条約にも登録された遊水地の貴重な自然を守り大切にしていこうとする心を育み、そのすばらしさを多くの人々に伝えていこうとする意欲を育てることを、めあてとしています。

渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団の皆様にご講師をしていただき、野鳥・昆虫・魚・植物・歴史・水質の6グループに分かれて、協力して楽しくいきいきと活動しました。講師の先生方の専門的な知識・技能に尊敬の眼差しを向けながら、実際に渡良瀬遊水地の様々な貴重な自然に触れる中で、そのすばらしさに感動していました。



部屋小学校 「発見!地域の伝統を知ろう」

4年生の総合的な学習「発見!地域の伝統を知ろう」では、部屋地区の部屋野で「よしず作り」を続けている松本八十二さんの工場を見学させていただきました。始めに渡良瀬遊水地に生えている「ヨシ」の原料としたよしず作りの作業工程を見せてもらいました。次に、地域に残る伝統工業「よしず作り」を体験させていただきました。子どもたちは、みんなで協力してよしず作りを体験する中で、よしずの編み方の工夫に驚いたり、地域に素晴らしい伝統工業があることを実感したりすることができました。また、部屋地区の伝統に触れることで、そのよさやふるさとを大切に思う気持ちを育むこともできました。



赤麻小学校 ボランティアの皆様の背中を見て育つ「あかまっ子」

本年度はコロナの影響で、アシストネットの学校支援ボランティアの皆様に来ていただくことはかなわないか、、、と考えていた矢先、4月の臨時休業中にもかかわらず、手作りマスクを多数寄贈いただいた。マスクの品薄状態の中、学校再開後、カラフルなマスクを着けて嬉しそうに登校してくる児童の姿が印象的だった。

1学期は、児童との接触をもち、消毒作業、サツマイモの苗植え、給食用白衣の手直し等、本当にありがたいご支援をいただいた。

2学期は、花壇の除草や整備、花の苗植え、稲刈り体験、10月からは感染防止対策をとった上で、読み聞かせや「コロポックル」の人形劇公演等を行っていただいている。

学校や子どもたちを思うボランティアの皆様のおかげで育つ「あかまっ子」だからこそ、ふるさとを大切に思う心が育つのだと実感する今日この頃である。



©2014 栃木市 とち介

とちぎ未来アシストネット事業



三鴨小学校 「町探検」

生活科の授業で、自分たちの生活の場や人々の様子を調べるために、10月27日(火)、三鴨地区内の探検に行きました。

三鴨小学区内には、電気工事や水道工事、植物園、そして鉄鋼業に関わる方々、さらに工務店やガソリンスタンド、コンビニエンスストア、郵便局など様々な場所で働いて活躍されている方々がいました。ほとんどの方が三鴨小卒業生の保護者です。子供たちがより興味・関心をもてるように、体験活動を多く取り入れ、分かりやすい説明をしてくださいました。

たくさん歩いてちょっと疲れたけれども、子供たちは元気な挨拶と笑顔で学校に戻ることができました。何より一番の収穫は、探検する前より、自分が住んでいるこの地域と地域の方々のことが好きになり、あこがれをもつようになったことです。地域の皆さん、本当にありがとうございました！



藤岡第一中学校 「ふるさと学習」

今年度はコロナウイルス感染拡大防止の観点から、授業や行事におけるボランティア活動はもとより行事を見直し、日程なども大幅に変更することとなりました。体育祭、学校祭は一般開放せず生徒のみの活動となってしまいました。そんな中、持久走大会は渡良瀬運動公園が会場ということで平日にかかわらず多くの保護者の方々に観戦、そして暖かいご声援をいただきました。

また、一年生の総合的な学習「ふるさと学習」では地域の歴史や産業、自然などの調査活動で渡良瀬遊水池アグリメーション振興財団、ガイドクラブ、松本八十二様、栃木市渡良瀬遊水池課田村様のご協力いただき学習を進めることができました。



藤岡第二中学校 「読み聞かせ」

コロナ感染症の影響で、アシストネット活動も控えていましたが、「マスクをつけ換気をする、最小限人数の来校、生徒との距離をとる、感想交換など会話になることは後ほど感想を送付させていただく」など互いに感染症予防策を講じた中で、11月27日に「読み聞かせ」をお願いすることができました。

1年生は「まほうをわすれたまほうつかい」2年生は「森のパンダ」3年生は「まいにちがプレゼント」を読んでいただきました。

生徒はその場で感想を発表しなかった分、各自でその余韻を楽しんでいました。今後も感染症対策を互いにしながら、どんな活動ができるのかを考えていきたいと思っています。



藤岡地域の保育園・幼稚園の取り組み



藤岡は一とらんど保育園

保育園では年間を通し様々な行事がありますが、今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため制限があったり中止になったりと子どもたちの経験する行事が少なくなりました。



地域行事も制限がある中、去る10月21日感染防止対策を施しながら、更生保護女性会の皆さんと年長児でチューリップ球根の植え付けを行いました。プランターと一緒に植え付けをしながら「何色のチューリップかな?」「春になったら咲くね。」など会話も弾み、子どもたちとの貴重な経験をさせていただきました。

保育目標のひとつに「地域の中で育つ子ども」があります。これからも、地域の皆さんとの繋がりを大切にしながら子どもたちの健やかな成長を応援していきたいと思えます。

ふじおか幼稚園

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、楽しみにしていた行事も中止や方法を変えたりと、子どもたちや保護者の方々にも寂しい思いをさせてしまっている中、子どもたちに楽しい思い出を作ってほしいという思いで、園内で出来る体験学習を計画しました。各学年に分かれ、保育士がねらいを設定し、そのねらいに沿って楽しい体験ができるよう内容を考えました。



年少児は海賊ごっこで仲間と協力することで目標を達成することを、年中児は職業体験でたくさんの職業を体験することで仕事に興味を持ち夢をもつことを、年長児は買い物ごっこをしながらお金の使い方や計算することを。出来ないことを悲観するよりも、この環境下の中でいかに楽しく学びができるかを常に考え、計画実践できたことは子どもたちにとっても素晴らしい体験になったと思えます。

バンビ幼稚園

コロナ禍における子どもの後伸びする力を考える。

今年度は、新型コロナの影響により行事等全てにおいて、自粛等余儀なくされ、子どもの成長に多大なる影響が出ております。

この非日常的な生活の中においても、子どもたちは、元気に外遊びや室内遊びに興じ、コミュニケーションを図りながら、色々なものに挑戦し、お互いを理解し、見守り・助け合いながら、後伸びする力を蓄え、日々成長し続けております。

この非日常の生活の中で、他者を敬い・気遣いを考えられる子に成長してもらいたいと願っております。

このような生活が、今後子どもの成長に何らかの影響を及ぼさないか危惧するところである。



ボランティア募集



藤岡地域では多くのボランティアの方々が「とちぎ未来アシストネット」によって、学校支援ボランティアとして活躍してくださっております。また、児童・生徒も積極的に地域の行事に参加し貢献活動を行っています。

“地域ぐるみ”で子どもたちの「生きる力」を育むため、地域の皆様の力が必要です。例えば・・・「クラブ活動に協力したい」「特技や学んだことを活かしたい」「読み聞かせをとおして本好きな子にしたい」「子ども達と話したい」「自分の体験を伝えたい」「環境美化に協力したい」……等々。

学校でのボランティア活動に興味のある方は、各学校の地域コーディネーターまたは、
藤岡公民館 ☎ 62-4321へご連絡ください。